

数値図化精度管理表

図郭及びモデルの範囲

作業名又は地区名		縮尺		作業期間	自 年 月 日	至 年 月 日		作業機関名					
図名又は図面番号		作業量						主任技術者					
モデル番号	1	2	3	4	5			点検者					
図化機名													
作業員													

モデル番号	コース番号	写真番号		対地標定記録(上段：基準点、下段：パスポイント等)										標定使用点数 上段：平面 下段：標高	接合の良否 上段：5/10間 下段：図郭間	
				平面位置の標定残差(m) [※]		標高の標定残差(m)										
				許容範囲内	許容範囲を超える	0.1 以内	0.2 以内	0.3 以内	0.5 以内	0.7 以内	1.0 以内	1.5 以内	1.5 を超える			
1																
2																
3																
4																
5																

モデル番号	図式分類(図化漏れ数、誤コード数) 上段：図化漏れ、下段：誤コード															備考	
	道路(210*)	道路施設(22**)	鉄道(23**)	鉄道施設(24**)	建物(30**)	公共施設(41**)	その他小物体(42**)	水部(51**)	水部構造物(52**)	法面(611*, 612*)	構造物(613*, 614*)	植生(63**)	等高線(71**)	変形地(72**)	基準点(73**)		数値地形モデル(75**)
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	

注1. [※]平面位置の標定残差は第27条で規定する各地図情報レベルの誤差の許容範囲で判断する。
 2. 分類は製品仕様書に基づいて変更してもかまわない。
 3. 図面単位に作成する。

用紙の大きさはA4判とする。